股票代碼 5511

德昌營造股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國一〇四及一〇三年度第三季

公司地址：台中市北區五權路 401 之 1 號

電　　話：(04)2201-3611

德昌營造股份有限公司及子公司
民國一〇四及一〇三年度第三季財務報告
目　　錄

目　　次	頁　數
一、封面	-
二、目錄	-
三、會計師核閱報告	1
四、合併資產負債表	2～3
五、合併綜合損益表	4
六、合併權益變動表	5
七、合併現金流量表	6～7
八、合併財務報告附註	
（一）　公司沿革	8
（二）　通過財務報告之日期及程序	8
（三）　新發布及修訂準則及解釋之適用	8～10
（四）　重大會計政策之彙總說明	11～12
（五）　重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	13
（六）　重要會計項目之說明	13～32
（七）　關係人交易	32～33
（八）　質抵押之資產	33
（九）　重大或有負債及未認列之合約承諾	33～34
（十）　重大之災害損失	34
（十一）重大之期後事項	34
（十二）其他	34
（十三）附註揭露事項	
1.重大交易事項相關資訊	34～36
2.轉投資事業相關資訊	36
3.大陸投資資訊	36～37
4.母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額	37～38
（十四）營運部門資訊	39～40

會計師核閱報告

德昌營造股份有限公司　公鑒：

德昌營造股份有限公司及其子公司民國一〇四年及一〇三年九月三十日之合併資產負債表，暨民國一〇四年及一〇三年七月一日至九月三十日與民國一〇四年及一〇三年一月一日至九月三十日之合併綜合損益表、民國一〇四年及一〇三年一月一日至九月三十日之合併權益變動表及合併現金流量表，業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報告之編製係公司管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

除下段所述者外，本會計師係依照中華民國審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，故無法對上開合併財務報告整體表示查核意見。

列入上開合併財務報告之子公司財務報告及附註十三所揭露之相關資訊，係依據各該公司同期間未經會計師核閱之財務報告所編製。該等子公司民國一〇四年及一〇三年九月三十日之資產總額分別為 961,796 仟元及 807,262 仟元，各占合併資產總額之 14.49%及 13.31%，負債總額分別為 158,835 仟元及 79,266 仟元，各占合併負債總額之 4.65%及 2.70%，民國一〇四年及一〇三年一月一日至九月三十日之綜合損益總額分別為 4,860 仟元及(7,806)仟元，各佔合併綜合損益總額之 2.15%及(2.37%)。另如合併財務報告附註六、9 及附註十三所述，民國一〇四年九月三十日採用權益法之投資餘額計新台幣 50,754 仟元與民國一〇四年七月一日至九月三十日，以及民國一〇四年一月一日至九月三十日採用權益法認列之關聯企業利益之份額分別計新台幣 1,286 仟元及 1,286 仟元，係依據被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報告認列。

依本會計師核閱結果，除上段所述子公司及被投資公司之財務報告附註六、9 及附註十三所揭露之相關資訊，若能取得其同期間經會計師核閱之財務報告而可能需作適當調整之影響外，並未發現第一段所述合併財務報告在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」而須作修正之情事。

冠恆联合會計師事務所

會計師：張進德

會計師：萬益東

主管機關核准文號：

(79)台財證(一)第 00351 號函

金管證六字第 0950106345 號函

中華民國一〇四年十一月十一日

德昌營造股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	104 年 9 月 30 日（經核閱）金額	%	103 年 12 月 31 日（經查核）金額	%	103 年 9 月 30 日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金(附註六)	$550,159	8	$897,212	14	$1,165,261	19
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動(附註四及六)	41,863	1	40,822	1	301,056	5
1150	應收票據淨額(附註四及六)	981	-	365	-	56	-
1170	應收帳款淨額(附註四及六)	1,296,344	20	1,188,964	19	786,030	13
1180	應收帳款－關係人淨額(附註四及七)	56	-	-	-	56	-
1190	應收建造合約款(附註四及六)	1,032,258	16	487,550	8	579,895	10
1200	其他應收款(附註四、六及七)	137,728	2	227,161	3	162,961	3
130X	存貨(附註四、六及八)	888,985	13	610,665	10	606,479	10
1410	預付款項(附註四、六及七)	166,166	3	88,051	1	138,127	2
1470	其他流動資產(附註八)	27,682	-	37,810	1	44,698	1
1476	其他金融資產－流動(附註八)	1,988,178	30	2,301,289	36	1,866,467	31
	流動資產合計	6,130,400	93	5,879,889	93	5,651,086	94
	非流動資產						
1523	備供出售金融資產－非流動(附註四及六)	-	-	-	-	4,027	-
1543	以成本衡量之金融資產－非流動(附註四及六)	225,405	3	219,611	5	197,411	3
1550	採用權益法之投資(附註四及六)	50,754	1	-	-	-	-
1600	不動產、廠房及設備(附註四、六及八)	82,380	1	84,436	1	80,003	1
1760	投資性不動產淨額(附註四、六及八)	104,931	2	89,357	1	89,564	1
1780	無形資產(附註四及六)	5,720	-	6,678	-	7,558	-
1840	遞延所得稅資產(附註四及六)	17,743	-	17,553	-	16,697	-
1920	存出保證金	19,707	-	18,667	-	19,028	1
1930	長期應收票據及款項(附註四)	180	-	420	-	420	-
1975	淨確定福利資產-非流動(附註四)	1,565	-	1,630	-	-	-
	非流動資產合計	508,385	7	438,352	7	414,708	6
	資產總計	$6,638,785	100	$6,318,241	100	$6,065,794	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分，並請參閱冠恆聯合會計師事務所張進德、萬益東會計師民國 104 年 11 月 11 日核閱報告

董事長：黃政勇　　經理人：陳豐中　　會計主管：詹中亮

德昌營造股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 104 年 9 月 30 日暨 103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	負債及股東權益	104 年 9 月 30 日（經核閱）金額	%	103 年 12 月 31 日（經查核）金額	%	103 年 9 月 30 日（經核閱）金額	%
	流動負債						
2100	短期借款(附註四、六及八)	$100,000	2	$48,120	1	$48,120	1
2110	應付短期票券(附註四及六)	149,936	2	-	-	-	-
2150	應付票據(附註四及六)	254,479	4	317,924	5	288,082	5
2161	應付票據-關係人(附註七)	-	-	56	-	-	-
2170	應付帳款(附註四及六)	1,086,092	17	1,183,598	19	863,124	14
2190	應付建造合約款(附註四及六)	546,197	8	355,996	6	860,508	14
2200	其他應付款(附註四、六及七)	76,471	1	140,883	2	73,867	1
2230	本期所得稅負債(附註四及六)	26,323	-	90,596	1	38,977	1
2252	保固之短期負債準備(附註四及六)	54,115	1	49,942	1	45,688	1
2320	一年或一營業週期內到期長期負債(附註四、六及八)	10,287	-	2,408	-	2,349	-
2335	代收款(附註四及六)	949,356	14	652,426	10	622,212	10
2399	其他流動負債－其他	60,547	1	51,057	1	62,615	1
	流動負債合計	3,313,803	50	2,893,006	46	2,905,542	48
	非流動負債						
2540	長期借款(附註四、六及八)	98,970	2	24,607	-	25,259	1
2570	遞延所得稅負債(附註四及六)	4,600	-	3,075	-	592	-
2640	淨確定福利負債-非流動(附註四及六)	-	-	-	-	3,703	-
2670	其他非流動負債－其他	760	-	738	-	783	-
	非流動負債合計	104,330	2	28,420	-	30,337	1
	負債總計	3,418,133	52	2,921,426	46	2,935,879	49
	歸屬母公司業主之權益						
3110	普通股股本(附註六)	1,516,607	23	1,516,607	24	1,516,607	25
3200	資本公積(附註六)	135,583	2	135,583	2	135,583	2
3300	保留盈餘(附註六)						
3310	法定盈餘公積	418,850	6	360,057	6	360,057	6
3320	特別盈餘公積	-	-	10,669	-	10,669	-
3350	未分配盈餘	1,132,566	17	1,364,507	22	1,099,287	18
3400	其他權益(附註四及六)	17,046	-	9,392	-	(7,811)	-
31XX	母公司業主權益合計	3,220,652	48	3,396,815	54	3,114,392	51
36XX	非控制權益(附註六)	-	-	-	-	15,523	-
3XXX	權益總計	3,220,652	48	3,396,815	54	3,129,915	51
	負債及權益總計	$6,638,785	100	$6,318,241	100	$6,065,794	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分，並請參閱冠恆聯合會計師事務所張進德、萬益東會計師民國 104 年 11 月 11 日核閱報告

董事長：黃政勇　　經理人：陳豐中　　會計主管：詹中亮

德昌營造股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱、未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元
每股盈餘為元

代碼	會計科目	104 年 7 月至 9 月 金額	%	103 年 7 月至 9 月 金額	%	104 年 1 月至 9 月 金額	%	103 年 1 月至 9 月 金額	%
4000	營業收入(附註四、六及七)	$819,649	100	$1,113,363	100	$2,756,039	100	$3,317,669	100
5000	營業成本(附註四及六)	(755,260)	(92)	(979,674)	(88)	(2,392,716)	(87)	(2,851,255)	(86)
5900	營業毛利	64,389	8	133,689	12	363,323	13	466,414	14
6000	營業費用(附註四及七)	(31,373)	(4)	(35,372)	(3)	(107,124)	(4)	(104,970)	(3)
6900	營業淨利	33,016	4	98,317	9	256,199	9	361,444	11
7000	營業外收入及支出(附註四、六及七)								
7010	其他收入	24,055	3	24,834	2	32,255	1	57,595	2
7020	其他利益及損失	1,978	-	406	-	(7,935)	-	(2,939)	-
7050	財務成本	(416)	-	(3)	-	(469)	-	(31)	-
7060	採權益法認列之關聯企業及合資損益之份額(附註四及六)	1,286	-	-	-	1,286	-	-	-
	營業外收入及支出合計	26,903	3	25,237	2	25,137	1	54,625	2
7900	稅前淨利	59,919	7	123,554	11	281,336	10	416,069	13
7950	減：所得稅費用(附註四及六)	(9,234)	(1)	(21,371)	(2)	(63,252)	(2)	(89,039)	(3)
8200	本期淨利	50,685	6	102,183	9	218,084	8	327,030	10
8300	其他綜合損益								
	後續可能重分類至損益之項目：								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額(附註六)	15,063	2	3,930	-	9,221	-	4,243	-
8362	備供出售金融資產未實現評價利益(損益)(附註六)	-	-	(818)	-	-	-	(664)	-
8399	與可能重分類至損益之項目相關之所得稅(附註四及六)	(2,560)	-	(668)	-	(1,567)	-	(721)	-
8300	其他綜合損益淨額	12,503	2	2,444	-	7,654	-	2,858	-
8500	本期綜合損益總額	$63,188	8	$104,627	9	$225,738	8	$329,888	10
8600	淨利歸屬於：								
8610	母公司業主	$50,685	6	$102,183	9	$218,084	8	$327,030	10
8620	非控制權益	$-	-	$-	-	$-	-	$-	-
8700	綜合損益總額歸屬於：								
8710	母公司業主	$63,188	8	$104,627	9	$225,738	8	$329,888	10
8720	非控制權益	$-	-	$-	-	$-	-	$-	-
	每股盈餘								
9750	基本每股盈餘(附註六)	$0.34		$0.68		$1.44		$2.16	
9850	稀釋每股盈餘(附註六)	$0.34		$0.67		$1.44		$2.15	

後附之附註係本合併財務報告之一部分，並請參閱冠恆聯合會計師事務所張進德、萬益東會計師民國 104 年 11 月 11 日核閱報告

董事長：黃政勇　　經理人：陳豐中　　會計主管：詹中亮

德昌營造股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

		歸屬於母公司業主之權益									
		股本		保留盈餘			其他權益項目				
		普通股股本	資本公積	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	備供出售金融資產未實現損失	母公司業主權益合計	非控制權益	合計
A1	民國 103 年 1 月 1 日餘額	$1,444,388	$135,583	$297,708	$27,643	$1,250,948	$(1,681)	$(8,988)	$3,145,601	$-	$3,145,601
	民國 102 年度盈餘分配項目										
B1	提列法定盈餘公積	-	-	62,349	-	(62,349)	-	-	-	-	-
B17	迴轉特別盈餘公積	-	-	-	(16,974)	16,974	-	-	-	-	-
B9	盈餘轉增資	72,219	-	-	-	(72,219)	-	-	-	-	-
B5	盈餘分配現金股利	-	-	-	-	(361,097)	-	-	(361,097)	-	(361,097)
O1	非控制權益變動數	-	-	-	-	-	-	-	-	15,523	15,523
D1	民國 103 年 1 月至 9 月淨利	-	-	-	-	327,030	-	-	327,030	-	327,030
D3	民國 103 年 1 月至 9 月稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	3,522	(664)	2,858	-	2,858
D5	民國 103 年 1 月至 9 月綜合損益總額	-	-	-	-	327,030	3,522	(664)	329,888	-	329,888
Z1	民國 103 年 9 月 30 日餘額	$1,516,607	$135,583	$360,057	$10,669	$1,099,287	$1,841	$(9,652)	$3,114,392	$15,523	$3,129,915
A1	民國 104 年 1 月 1 日餘額	$1,516,607	$135,583	$360,057	$10,669	$1,364,507	$9,392	$-	$3,396,815	$-	$3,396,815
	民國 103 年度盈餘分配項目										
B1	提列法定盈餘公積	-	-	58,793	-	(58,793)	-	-	-	-	-
B17	迴轉特別盈餘公積	-	-	-	(10,669)	10,669	-	-	-	-	-
B5	盈餘分配現金股利	-	-	-	-	(401,901)	-	-	(401,901)	-	(401,901)
D1	民國 104 年 1 月至 9 月淨利	-	-	-	-	218,084	-	-	218,084	-	218,084
D3	民國 104 年 1 月至 9 月稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	7,654	-	7,654	-	7,654
D5	民國 104 年 1 月至 9 月綜合損益總額	-	-	-	-	218,084	7,654	-	225,738	-	225,738
Z1	民國 104 年 9 月 30 日餘額	$1,516,607	$135,583	$418,850	$-	$1,132,566	$17,046	$-	$3,220,652	$-	$3,220,652

後附之附註係本合併財務報告之一部分，並請參閱冠恆聯合會計師事務所

張進德、萬益東會計師民國 104 年 11 月 11 日核閱報告

董事長：黃政 經理人：陳豐中 會計主管：詹中亮

德昌營造股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱、未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

		104 年 1 月至 9 月	103 年 1 月至 9 月
AAAA	營業活動之現金流量：		
A00010	合併稅前淨利	$281,336	$416,069
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	5,990	5,587
A20200	各項攤提	2,028	2,601
A20400	透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損失(利益)	6,163	(617)
A20900	利息費用	469	31
A21200	利息收入	(8,006)	(40,219)
A21300	股利收入	(923)	-
A22300	採用權益法認列之關聯企業及合資(利益)之份額	(1,286)	-
A22500	處分不動產、廠房及設備損失(利益)損失	(19)	155
A23100	處分投資(利益)	(374)	-
A24100	未實現外幣兌換淨(利益)損失	(189)	67
A30000	資產及負債項目之變動		
A31110	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動(增加)	(6,830)	(270,251)
A31130	應收票據	(616)	18,645
A31150	應收帳款	(107,380)	1,134,611
A31160	應收帳款-關係人	(56)	(56)
A31170	應收建造合約款	(544,708)	(270,766)
A31180	其他應收款	89,930	275,034
A31200	存貨	(294,519)	(124,557)
A31230	預付款項	(78,115)	(65,828)
A31240	其他流動資產	10,128	(5,073)
A31250	其他金融資產-流動	313,111	1,834,709
A32130	應付票據	(63,445)	(44,193)
A32140	應付票據-關係人	(56)	-
A32150	應付帳款	(97,494)	(231,283)
A32170	應付建造合約款	190,201	(286,306)
A32200	保固之短期負債準備	4,173	6,183
A32180	其他應付款項	(64,373)	(68,508)
A32230	其他流動負債	9,490	18,817
A32990	代收款	296,930	(1,416,145)
A32240	淨確定福利負債	65	(2,700)
A33000	營運產生之現金流(出)入	(58,375)	886,007
A33100	收取之利息	7,686	41,674
A33200	收取之股利	923	-
A33300	支付之利息	(572)	(178)
A33500	支付所得稅	(127,757)	(123,302)
AAAA	營業活動淨現金流(出)入	(178,095)	804,201

~ 續次頁 ~

~ 承上頁 ~

BBBB	投資活動之現金流量：		
B01800	取得採用權益法之投資	(49,468)	-
B02700	取得不動產、廠房及設備價款	(3,748)	(6,791)
B02800	處分不動產、廠房及設備價款	458	456
B03700	存出保證金增加	(1,469)	(1,898)
B03800	存出保證金減少	435	2,592
B04500	取得無形資產	(1,070)	(150)
B05400	取得投資性不動產	-	(10,904)
B06800	長期應收款減少	240	240
BBBB	投資活動之淨現金流(出)	(54,622)	(16,455)
CCCC	籌資活動之現金流量：		
C00100	短期借款增加	186,000	511,175
C00200	短期借款減少	(134,120)	(473,055)
C00500	應付短期票券增加	330,000	3,005
C00600	應付短期票券減少	(180,000)	(23,000)
C01600	舉借長期借款	86,000	-
C01700	償還長期借款	(3,758)	(1,760)
C03000	存入保證金增加	48	84
C03100	存入保證金減少	(26)	(28)
C04500	發放現金股利	(401,901)	(361,097)
C05800	非控制權益變動	-	15,523
CCCC	籌資活動之淨現金流(出)	(117,757)	(329,153)
DDDD	匯率變動對現金及約當現金之影響	3,421	959
EEEE	本期現金及約當現金淨(減少)增加	(347,053)	459,552
E00100	期初現金及約當現金餘額	897,212	705,709
E00200	期末現金及約當現金餘額	$550,159	$1,165,261

後附之附註係本合併財務報告之一部分，並請參閱冠恆联合會計師事務所
張進德、萬益東會計師民國 104 年 11 月 11 日核閱報告

董事長：黃政勇　　經理人：陳豐中　　會計主管：詹中亮

德昌營造股份有限公司及子公司

合併財務報告附註

民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱、未依一般公認審計準則查核）

（金額除另予註明外，均以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

德昌營造股份有限公司(以下簡稱本公司)設立於民國 75 年 5 月，本公司股票自民國 87 年 12 月起於證券櫃檯買賣中心上櫃。主要營業項目為承攬建築與土木工程。

本公司之功能性貨幣為新台幣。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於民國 104 年 11 月 11 日經董事會核准並通過發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)首次適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之 2013 年版國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）。依據金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）發布之金管證審字第 1030029342 號及金管證審字第 1030010325 號函，合併公司應自民國 104 年起開始適用業經國際會計準則理事會（IASB）發布且經金管會認可之 2013 年版國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）(以下簡稱「IFRSs」)及相關證券發行人財務報告編製準則修正規定。

合併公司認為除下列各項外，適用修正後之證券發行人財務報告編製準則及 2013 年版 IFRSs 不致對合併財務報告造成重大變動：

1. 國際會計準則第 1 號之修正「其他綜合損益項目之表達」

該準則修正其他綜合損益之表達方式,將列示於其他綜合損益之項目依性質分類為「後續不重分類至損益」及「後續將重分類至損益」兩類別。相關所得稅亦應按相同基礎分組。適用該修正規定前，並無上述分組之強制規定。合併公司已依該準則改變綜合損益表之表達方式。

2. 國際財務報導準則第 13 號「公允價值衡量」

國際財務報導準則第 13 號「公允價值衡量」提供公允價值衡量指引，該準則定義公允價值、建立衡量公允價值之架構，並規定公允價值衡量之揭露。此外，該準則規定之揭露內容較現行準則更為廣泛，例如，現行準則僅要求以公允價值衡量之金融工具須按公允價值三層級揭露，依照國際財務報導準則第 13 號「公允價值衡量」規定，適用該準則之所有資產及負債皆須提供前述揭露。IFRS 13 之衡量規定係採推延適用。經評估該準則對合併公司財務狀況與經營結果無重大影響，並已依規定增加相關揭露。

3. 國際會計準則第 19 號「員工福利」

該修訂準則規定確定福利義務變動及計畫資產公允價值變動係於發生時認列,因而排除過去得按「緩衝區法」處理之選擇，並加速前期服務成本之認列。該修訂規定所有精算損益將立即認列於其他綜合損益,俾使已認列之淨退休金資產或負債反映計畫短絀或剩餘之整體價值。此外，「淨利息」將取代適用修訂準則前之利息成本及計畫資產之預期報酬，並以淨確定福利負債（資產）乘以折現率決定淨利息。此外，該修訂同時增加確定福利計劃之揭露，合併公司經評估該準則對合併公司財務狀況與經營結果無重大影響，已依規定增加相關揭露。

(二)金管會尚未認可之新發布及修訂準則及解釋

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可 2013 年國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註 1)
國際財務報導準則第 9 號「金融工具」	2018 年 1 月 1 日
國際財務報導準則第 9 及 7 號之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018 年 1 月 1 日
國際財務報導準則第 10 號及國際會計準則第 28 號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	2016 年 1 月 1 日(註 3)
國際財務報導準則第 10 號、第 12 號及國際會計準則第 28 號之修正「投資個體：合併報表例外規定之適用」	2016 年 1 月 1 日
國際財務報導準則第 11 號之修正「聯合營運權益之取得」	2016 年 1 月 1 日
國際財務報導準則第 14 號「管制遞延帳戶」	2016 年 1 月 1 日
國際財務報導準則第 15 號「來自客戶合約之收入」	2018 年 1 月 1 日
國際會計準則第 1 號之修正「揭露計劃」	2016 年 1 月 1 日
國際會計準則第 16 號及第 38 號之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」	2016 年 1 月 1 日
國際會計準則第 19 號之修正「確定福利計畫：員工提撥金」	2014 年 7 月 1 日
國際會計準則 27 之修正「單獨財務報表中之權益法」	2016 年 1 月 1 日
國際會計準則第 36 號之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	2014 年 1 月 1 日
國際會計準則第 39 號之修正「衍生工具之合約更替及避險會計之繼續」	2014 年 1 月 1 日
「2010-2012 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日(註 2)
「2011-2013 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日
「2012-2014 週期之年度改善」	2016 年 1 月 1 日(註 4)

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：給與日於 2014 年 7 月 1 日以後之股份基礎給付交易開始適用 IFRS 2 之修正；收購日於 2014 年 7 月 1 日以後之企業合併開始適用 IFRS 3 之修正；IFRS 13 於修正時即生效。其餘修正係適用於 2014 年 7 月 1 日以後開始之年度期間。

註 3：推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間所發生之交易。

註 4：除 IFRS 5 之修正推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間外，其餘修正係追溯適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

除下列說明外，適用上述新發布／修正／修訂準則或解釋將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. 國際財務報導準則第 9 號「金融工具」

金融資產之認列及衡量

就金融資產方面，所有原屬於國際會計準則第39號「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。國際財務報導準則第9號對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1)以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益認列於損益。

(2)藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

2. 國際會計準則第 36 號之修正「非金融資產可回收金額之揭露」

IASB 於發布國際財務報導準則第 13 號「公允價值衡量」時，同時修正國際會計準則第 36 號「資產減損」之揭露規定，導致合併公司須於每一報導期間增加揭露資產或現金產生單位之可回收金額。本次國際會計準則第 36 號之修正係釐清合併公司僅須於認列或迴轉減損損失當期揭露該等可回收金額。此外，若可回收金額係以現值法計算之公允價值減處分成本衡量，合併公司須增加揭露所採用之折現率。

3. 2010-2012 週期之年度改善

2010-2012 週期之年度改善修正國際財務報導準則第 2 號「股份基礎給付」、國際財務報導準則第 3 號「企業合併」及國際財務報導準則第 8 號「營運部門」等若干準則。

國際財務報導準則第 2 號之修正係改變既得條件及市價條件定義，並增列績效條件及服務條件定義。該修正釐清績效條件所訂之績效目標得按合併公司或同一集團內另一個體之營運（非市價條件）或權益工具之市價（市價條件）設定。該績效目標之設定得與合併公司整體或部分（例如某一部門）績效有關，而達成績效目標之期間則不得長於服務期間。此外，該修正並釐清股價指數目標因同時反映合併公司本身與集團外其他企業之績效，故非屬績效條件。

國際財務報導準則第 3 號之修正係釐清企業合併之或有對價，無論是否為國際會計準則第 39 號或國際財務報導準則第 9 號之適用範圍，應以公允價值衡量，公允價值變動係認列於損益。

國際財務報導準則第 8 號之修正係釐清若合併公司將具有相似經濟特性之營運部門彙總揭露，應於合併財務報告揭露管理階層於運用彙總基準時所作之判斷。此外，該修正亦釐清合併公司僅於部門資產定期提供予主要營運決策者時，始應揭露應報導部門資產總額至企業資產總額之調節資訊。

國際財務報導準則第 13 號之修正係釐清適用國際財務報導準則第 13 號後，無設定利率之短期應收款及應付款，若折現之影響不重大，仍得按原始發票金額衡量。

國際會計準則第 24 號「關係人揭露」之修正係釐清，為合併公司提供主要管理階層服務之管理個體係屬合併公司之關係人，應揭露管理個體提供主要管理階層服務而致報導個體發生之已支付或應支付金額，惟無須揭露該等薪酬之組成類別。

4. 2011-2013 週期之年度改善

2011-2013 週期之年度改善修正國際財務報導準則第 3 號及第 13 號及 IAS 40「投資性不動產」等若干準則。

國際財務報導準則第 3 號之修正係釐清國際財務報導準則第 3 號不適用於聯合協議本身財務報表中關於其設立之會計處理。

國際財務報導準則第 13 號之修正係對適用以淨額基礎衡量金融資產及金融負債群組公允價值之例外（即「組合例外」）進行修正，以釐清該例外範圍包括國際會計準則第 39 號或國際財務報導準則第 9 號適用範圍內並依其規定處理之所有合約，即使該合約不符合國際會計準則第 32 號「金融工具：表達」對金融資產或金融負債之定義亦然。

國際會計準則第 40 號之修正係釐清合併公司應同時依國際會計準則第 40 號及國際財務報導準則第 3 號判斷所取得之投資性不動產係屬取得資產或屬企業合併。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

除下列說明外，本合併財務報告所採用之會計政策與民國 103 年度合併財務報告相同。

(一)遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二)合併基礎

1.合併報告編製原則

本合併財務報告包含本公司及由本公司所控制個體(即子公司)之財務報告。控制係指本公司可主導某一個體之財務及營運政策之權力，以從其活動中獲取利益。

合併綜合損益表已適當納入被收購或被處分子公司於當年度自收購日起或至處分日止之營運損益。

子公司之財務報告已予適當調整，以使其會計政策與合併公司之會計政策一致。

於編製合併財務報告時，各個體間之交易、帳戶餘額、收益及費損於合併時全數消除。

當合併公司對子公司所有權權益之變動未導致喪失控制者，係作為權益交易處理。合併公司及非控制權益之帳面金額已予調整，以反映其於子公司相對權益之變動。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額，係直接認列為權益且歸屬於本公司業主。

當合併公司喪失對子公司之控制時，處分損益係為下列兩者之差額：(a)所收取對價之公允價值與對前子公司之剩餘投資按喪失控制日之公允價值合計數，以及(b)前子公司之資產（含商譽）與負債及非控制權益按喪失控制日之帳面金額合計數。合併公司對於其他綜合損益中所認列與該子公司有關之所有金額，其會計處理係與合併公司直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同。

對前子公司剩餘投資係按喪失控制日之公允價值作為原始認列之金額。

2.列入合併財務報告之子公司

合併公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比		
			104.9.30	103.12.31	103.9.30
母公司	德鎮盛工程股份有限公司(德鎮盛工程)	廢（污）水處理業、廢棄物處理業、水處理工程業。	100%	100%	100%
母公司	玉新開發建設股份有限公司(玉新開發)註一	住宅及大樓開發租售業。	100%	100%	100%
母公司	TE CHANG CONSTRUCTION PTE. LTD.	投資控股。	100%	100%	100%
玉新開發	宇廣營造股份有限公司(宇廣營造)	綜合營造業、建材批發業、建材零售業、不動產買賣業。	100%	100%	100%
TE CHANG CONSTRUCTION PTE. LTD.	BESTCON CONSTRUCTION & ENGINEERING Co., Ltd.	綜合營造業、建材批發業、建材零售業。	-	-	49%

註一：玉新開發建設股份有限公司(原名玉新資產管理股份有限公司)於民國 104 年 3 月 3 日經主管機關核准變更為玉新開發建設股份有限公司。

3.未列入合併財務報告之子公司：無。

(三)投資關聯企業

關聯企業係指合併公司具有重大影響，但非屬子公司或合資權益之企業。

合併公司對投資關聯企業係採用權益法。權益法下，投資關聯企業原始依成本認列，取得日後帳面金額係隨合併公司所享有之關聯企業損益及其他綜合損益份額與利潤分配而增減。此外，針對關聯企業權益之變動，合併公司可享有關聯企業權益之變動係按持股比例認列。

關聯企業發行新股時，合併公司若未按持股比例認購，致使持股比例發生變動，並因而使投資之股權淨值發生增減時，其增減數調整資本公積及採用權益法之投資。惟若未按持股比例認購或取得致使對關聯企業之所有權權益減少者，於其他綜合損益中所認列與該關聯企業有關之金額按減少比例重分類，其會計處理之基礎係與關聯企業若直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同；前項調整如應借記資本公積，而採用權益法之投資所產生之資本公積餘額不足時，其差額借記保留盈餘。

當合併公司對關聯企業之損失份額等於或超過其在該關聯企業之權益(包括權益法下投資關聯企業之帳面金額及實質上屬於合併公司對該關聯企業淨投資組成部分之其他長期權益)時，即停止認列進一步之損失。合併公司僅於發生法定義務、推定義務或已代關聯企業支付款項之範圍內，認列額外損失及負債。

取得成本超過合併公司於取得日所享有關聯企業可辨認資產及負債淨公允價值份額之數額列為商譽，該商譽係包含於該投資之帳面金額且不得攤銷；合併公司於取得日所享有關聯企業可辨認資產及負債淨公允價值份額超過取得成本之數額列為當期收益。

合併公司於評估減損時，係將投資之整體帳面金額(含商譽)視為單一資產比較可回收金額與帳面金額，進行減損測試，所認列之減損損失亦屬於投資帳面金額之一部分。減損損失之任何迴轉，於該投資之可回收金額後續增加之範圍內予以認列。

合併公司於喪失重大影響之日以公允價值衡量其對原關聯企業之剩餘投資，剩餘投資之公允價值及任何處分價款與喪失重大影響當日之投資帳面金額之差額，列入當期損益。此外，於其他綜合損益中所認列與該關聯企業有關之所有金額，其會計處理之基礎係與關聯企業若直接處分相關資產或負債所必須遵循之基礎相同。

合併公司與關聯企業之順流交易未實現損益於個體財務報表予以銷除。合併公司與關聯企業之逆流及側流交易所產生之損益，僅在與合併公司對關聯企業權益無關之範圍內，認列於合併財務報告。

(四)退職後福利

屬於確定提撥退休計畫之退休金，於員工提供服務之期間，將應提撥之退休金數額認列為當期費用。

屬確定福利退休計畫之退休金，提供福利之成本係使用預計單位福利法進行精算評價。確定福利計畫產生再衡量數於發生期間認列於合併綜合損益表項下之其他綜合損益，並列入保留盈餘。前期服務成本之相關費用立即認列為損益。淨確定福利負債(資產)係確定福利退休計畫之提撥短絀(剩餘)。淨確定福利資產不得超過從該計畫退還提撥金或可減少未來提撥金之現值。

期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

(五)所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

管理階層依金管會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製本合併財務季報告時，必須作出判斷、估計及假設，其將對會計政策之採用及資產、負債、收益及費用之報導金額有所影響。實際結果可能與估計存有差異。

編製合併財務季報告時,管理階層於採用合併公司會計政策時所作之重大判斷以及估計不確定性之主要來源與民國 103 年度合併財務報告一致。

對於假設及估計之不確定性中，存有重大風險可能於未來造成重大調整之項目，主要係建造合約之估計總成本。惟合併公司管理階層認為所選定之估計及假設可適當用以決定建造合約之估計總成本。

六、重要會計項目之說明

1. 現金及約當現金

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
庫存現金及週轉金	$6,954	$5,482	$5,648
銀行存款	523,249	502,017	929,963
約當現金			
附買回債券	19,956	389,713	229,650
合計	$550,159	$897,212	$1,165,261

(1)銀行存款及約當現金－附買回債券於資產負債表日之市場利率區間如下：

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
銀行存款	0.001%~1.36%	0.01%~3%	0.01%~1.36%
附買回債券	0.45%~0.60%	0.62%	0.62%~0.65%

2. 透過損益按公允價值衡量之金融工具

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
持有供交易之金融資產			
非衍生性金融資產			
上市櫃股票	$11,377	$10,466	$-
基金	30,486	30,356	301,056
合計	$41,863	$40,822	$301,056

3. 應收票據、應收帳款及其他應收款

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
應收票據	$981	$365	$56
減：備抵呆帳	-	-	-
	$981	$365	$56
應收帳款			
應收工程款	$436,000	$396,806	$186,585
應收工程保留款	561,581	496,700	453,137
暫估應收工程款	298,749	295,458	146,308
其他	14	-	-
減：備抵呆帳	-	-	-
	$1,296,344	$1,188,964	$786,030

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收工程款,因其信用品質並未發生重大改變且相關帳款仍可收回其金額，故尚無減損疑慮。

應收工程款之帳齡分析如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
未逾期	$159,382	$293,643	$70,596
已逾期但未減損			
90天以下	263,922	74,687	13,190
91至180天	-	5,360	40,371
181至365天	-	4,500	51,955
365天以上	12,696	18,616	10,473
小計	276,618	103,163	115,989
	$436,000	$396,806	$186,585

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

其他應收款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應收代辦土地開發款	$673,088	$1,149,754	$884,984
減：代收土地款	(567,295)	(1,060,968)	(801,519)
應收代辦土地開發款淨額	105,793	$88,786	83,465
應收債權	1,456	7,865	19,484
暫付款	16,776	113,417	1,608
應收收益	837	517	1,108
原始到期日超過三個月以上之銀行定期存款	-	3,505	4,215
其他	12,866	13,071	53,081
合計	$137,728	$227,161	$162,961

4. 應收(付)建造合約款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應收建造合約款			
累計已發生成本及已認列利潤	$13,316,599	$10,042,508	$9,058,651
減：累計工程進度請款金額	(12,284,341)	(9,554,958)	(8,478,756)
應收建造合約款	$1,032,258	$487,550	$579,895

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應付建造合約款			
累計工程進度請款金額	$3,499,039	$3,875,384	$6,712,210
減：累計已發生成本及已認列利潤	(2,952,842)	(3,519,388)	(5,851,702)
應付建造合約款	$546,197	$355,996	$860,508

合併公司於民國104及103年1月至9月認列建造合約收入分別為2,728,875仟元及3,305,117仟元。

5.存貨

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
待售土地	$686,516	$282,396	$275,905
待售房屋	202,316	328,116	330,421
材料	153	153	153
合計	$888,985	$610,665	$606,479

(1)合併公司民國104及103年1月至9月之銷貨成本皆未包括存貨跌價損失。
(2)合併公司存貨部分提供銀行作為擔保，明細詳附註八。

6.預付款項

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
預付工程款	$86,702	$61,573	$112,928
預付費用	20,070	22,044	24,778
預付投資款	59,166	-	-
其他	228	4,434	421
合計	$166,166	$88,051	$138,127

預付投資款係用於投資 Landplus Construction And Engineering Co.,Ltd.，因尚未設立登記完成，故帳列預付投資款。

7.備供出售金融資產-非流動

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
國內上市櫃股票			
劍湖山世界(股)公司	$-	$-	$25,414
評價調整	-	-	(21,387)
合計	$-	$-	$4,027

8.以成本衡量之金融資產-非流動

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
國內未上市櫃股票			
野美國際開發(股)公司	$99,376	$99,376	$99,376
減：累積減損	(30,103)	(30,103)	(30,103)
小計	69,273	69,273	69,273
國外股權投資			
江西日榮實業有限公司	156,132	150,338	128,138
減：累積減損	-	-	-
合計	$225,405	$219,611	$197,411

9.採用權益法之投資

(1)本公司之關聯企業列示如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
非上市(櫃)公司-普通股			
老楊食品股份有限公司(老楊食品)	$50,754	$-	$-

(2)合併公司於資產負債表日對關聯企業之所有權權益及表決權百分比如下：

公　司　名　稱	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
老楊食品股份有限公司(老楊食品)	25.01%	-	-

合併公司於民國104年8月14日以現金49,468仟元認購老楊食品私募之普通股2,105仟股，私募後持股比例為 25.01%，取得對老楊食品重大影響。取得老楊食品所產生之商譽為6,031仟元係列入投資關聯企業之成本。

(3)有關合併公司之關聯企業彙整性財務資訊如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
總資產	$428,183	$-	$-
總負債	$249,364	$-	$-

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
本期營業收入	$49,909	$-	$138,682	$-
本期淨利	$6,383	$-	$19,595	$-

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
合併公司享有之份額				
本期淨利	$1,286	$-	$1,286	$-

民國104年及103年1月1日至9月30日採用權益法之投資及合併公司對其所享有之損益，係按被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報告認列，惟合併公司管理階層認為上述被投資公司財務報告未經會計師核閱，尚不致產生重大影響。

10. 不動產、廠房及設備

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
土地	$35,363	$35,363	$35,363
房屋及建築	28,405	29,150	29,398
機器設備	198	481	558
運輸設備	13,312	15,052	10,271
辦公設備	4,242	4,390	4,413
建造中之不動產	860	-	-
合計	$82,380	$84,436	$80,003

成本	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	建造中之不動產	合計
103.1.1餘額	$35,363	$36,326	$1,250	$21,457	$9,582	$-	$103,978
增添	-	-	170	4,214	2,407	-	6,791
出售或報廢	-	-	-	(1,787)	(127)	-	(1,914)
103.9.30餘額	$35,363	$36,326	$1,420	$23,884	$11,862	$-	$108,855
104.1.1餘額	$35,363	$36,326	$1,420	$29,169	$12,305	$-	$114,583
增添	-	-	-	1,669	1,219	860	3,748
出售或報廢	-	-	(538)	(2,408)	(389)	-	(3,335)
104.9.30餘額	$35,363	$36,326	$882	$28,430	$13,135	$860	$114,996

累計折舊	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	建造中之不動產	合計
103.1.1 餘額	$-	$6,183	$642	$12,105	$6,226	$-	$25,156
折舊費用	-	745	220	2,698	1,336	-	4,999
出售或報廢	-	-	-	(1,190)	(113)	-	(1,303)
103.9.30 餘額	$-	$6,928	$862	$13,613	$7,449	$-	$28,852
104.1.1 餘額	$-	$7,176	$939	$14,117	$7,915	$-	$30,147
折舊費用	-	745	123	3,158	1,339	-	5,365
出售或報廢	-	-	(378)	(2,157)	(361)	-	(2,896)
104.9.30 餘額	$-	$7,921	$684	$15,118	$8,893	$-	$32,616

(1)於民國 104 及 103 年 1 月至 9 月由於並無任何減損跡象，故合併公司並未進行減損評估。

(2)合併公司之不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	38 年
機器設備	3 年
運輸設備	3-5 年
辦公設備	3-5 年

(3)合併公司設定質押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註八。

(4)民國 104 年 9 月出售或報廢中,報廢包含機器設備取得原價 538 仟元和累計折舊 378 仟元、運輸設備取得原價 108 仟元和累計折舊 102 仟元以及辦公設備取得原價 364 仟元和累計折舊 338 仟元,出售包含運輸設備取得原價 2,300 仟元和累計折舊 2,055 仟元以及辦公設備取得原價 25 仟元和累計折舊 23 仟元；民國 103 年 9 月出售或報廢中，報廢包含運輸設備取得原價 792 仟元和累計折舊 697 仟元以及辦公設備取得原價 101 仟元和累計折舊 92 仟元,出售包含運輸設備取得原價 995 仟元和累計折舊 493 仟元以及辦公設備取得原價 26 仟元和累計折舊 21 仟元。

11. 投資性不動產

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
土地	$76,298	$60,672	$60,672
房屋及建築	28,633	28,685	28,892
合計	$104,931	$89,357	$89,564

成本	已完工投資性不動產	建造中投資性不動產	合計
103.1.1 餘額	$80,990	$-	$80,990
增添	10,904	-	10,904
處分	-	-	-
重分類	-	-	-
103.9.30 餘額	$91,894	$-	$91,894
104.1.1 餘額	$91,894	$-	$91,894
增添	-	-	-
處分	-	-	-
重分類	16,199	-	16,199
104.9.30 餘額	$108,093	$-	$108,093

累計折舊	已完工投資性不動產	建造中投資性不動產	合計
103.1.1 餘額	$1,742	$-	$1,742
折舊費用	588	-	588
重分類	-	-	-
103.9.30 餘額	$2,330	$-	$2,330
104.1.1 餘額	$2,537	$-	$2,537
折舊費用	625	-	625
重分類	-	-	-
104.9.30 餘額	$3,162	$-	$3,162

(1)合併公司投資性不動產-房屋及建築係以直線基礎按 34~41 年之耐用年限計提折舊。
(2)合併公司之投資性不動產其土地座落於台中市北區水源段、台北市松山區西松段、台南市官田區南廓段及台中市東勢區新盛段，面積共約 1,139 坪，經查詢不動產實價登錄鄰近房地每坪成交單價進行評估，推算土地、房屋建築之公允價值，請參閱民國 103 年 12 月 31 日財務報告附註六。

12. 無形資產

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
電腦軟體	$1,818	$2,776	$3,656
商譽	3,902	3,902	3,902
合計	$5,720	$6,678	$7,558

原始成本	電腦軟體	商譽	合計
103.1.1 餘額	$11,081	$3,902	14,983
增添	150	-	150
處分	-	-	-
103.9.30 餘額	$11,231	$3,902	$15,133
104.1.1 餘額	$11,231	$3,902	15,133
增添	1,070	-	1,070
處分	(1,158)	-	(1,158)
104.9.30 餘額	$11,143	$3,902	$15,045
攤銷及減損			
103.1.1 餘額	$4,974	$-	$4,974
攤銷	2,601	-	2,601
103.9.30 餘額	$7,575	$-	$7,575
104.1.1 餘額	$8,455	$-	$8,455
攤銷	2,028	-	2,028
處分	(1,158)	-	(1,158)
104.9.30 餘額	$9,325	$-	$9,325

13. 短期借款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
信用借款	$82,000	$-	$-
抵押借款	18,000	48,120	48,120
合計	$100,000	$48,120	$48,120

(1)銀行融資性借款之利率於於民國104年9月30日、103年12月31日及9月30日分別為1.33%~2.10%、3.12%及1.30%~3.12%。
(2)短期借款提供資產擔保情形詳附註八。

14. 應付短期票券

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應付商業本票	$150,000	$-	$-
減：應付短期票券折價	(64)	-	-
合計	$149,936	$-	$-

104年09月30日

保證/承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品
應付商業本票					
中華票券	$50,000	$(23)	$49,977	0.720%	無
兆豐票券	50,000	(30)	49,970	0.950%	無
國際票券	50,000	(11)	49,989	1.050%	無
合計	$150,000	$(64)	$149,936		

103年12月31日：無。

103年09月30日：無。

15. 應付票據、應付帳款及其他應付款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
應付票據			
應付票據－因營業而產生	$252,459	$313,503	$284,816
應付票據－非因營業而產生	2,020	4,421	3,266
	$254,479	$317,924	$288,082
應付帳款			
應付帳款－因營業而產生	$1,086,092	$1,183,598	$863,124
其他應付款			
應付薪資及年終獎金	$16,280	$87,831	$15,505
應付利息支出	63	102	100
應付退休金	757	670	734
應付員工紅利	14,887	10,946	11,913
應付董監酬勞	22,299	16,427	26,799
其他應付費用	22,185	24,907	18,816
合計	$76,471	$140,883	$73,867

16. 負債準備

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
保固	$54,115	$49,942	$45,688

保固負債準備係依銷售商品合約約定,合併公司管理階層對於因保固義務所導致未來經濟效益流出最佳估計數之現值。該估計係以歷史保固經驗為基礎，並考慮新原料、製程變動或其他影響產品品質等因素之調整。

17. 代收款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
代收土地款	$1,511,371	$1,710,169	$1,420,941
減：應收代辦土地開發款	(567,295)	(1,060,968)	(801,519)
代收土地款淨額	$944,076	$649,201	$619,422
其他	5,280	3,225	2,790
合計	$949,356	$652,426	$622,212

18. 長期借款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
抵押借款	$109,257	$27,015	$27,608
減：列為一年內到期部分	(10,287)	(2,408)	(2,349)
合計	$98,970	$24,607	$25,259

(1)銀行融資性借款之利率於民國104年9月30日、103年12月31日及9月30日分別為2.10%、2.50%及2.50%。
(2)長期借款提供資產擔保情形詳附註八。

19. 退職後福利計畫

確定福利計畫相關退休金費用係以民國103年12月31日及1月1日精算決定之退休金成本率計算。
民國104及103年1月至9月相關退休金費用係列入下列各單行項目：

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
工程費用	$-	$-	$-	$-
管理費用	$97	$119	$290	$357

20. 權益

(1)普通股股本

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
額定股數(仟股)	160,000	160,000	160,000
額定股本	$1,600,000	$1,600,000	$1,600,000
已發行且已收足股款之股數(仟股)	151,661	151,661	151,661
已發行股本	$1,516,607	$1,516,607	$1,516,607

已發行之普通股每股面額為10元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

(2)資本公積

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
股票發行溢價	$135,583	$135,583	$135,583

資本公積中屬超過票面金額發行股票之溢價(包括以超過面額發行普通股、公司債轉換溢價及庫藏股票交易等)及受領贈與之部分，得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金股利或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

(3)保留盈餘及股利政策

依本公司章程規定，本公司每年決算後所得純益，除依法扣繳所得稅外，應先彌補虧損，次提 10%為法定盈餘公積，另依主管機關規定，提撥或迴轉特別盈餘公積，如尚有盈餘除提撥員工紅利不低於 1%，全體董監事酬勞不高於 3.5%，其餘連同期初未分配盈餘由董事會擬具分派議案，提請股東會決議分派之。

本公司屬營造產業，考量公司營運所處環境及發展階段，因應未來資金需求及長期財務規劃，並滿足股東對現金流入之需求，由上述可分配盈餘依公司經營之資金需求狀況分派現金股利及股票股利，其現金股利部分不低於當年度股東紅利總和之 10%。

依民國 104 年 5 月公司法之修正，股息及紅利之分派限於股東，員工非屬盈餘分派之對象。本公司預計於民國 105 年度之股東常會配合上述法規修正公司章程。員工及董監事酬勞於民國 104 年及 103 年 7 月 1 日至 9 月 30 日與民國 104 年及 103 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之估列基礎，參閱附註六、23.。

本公司民國 104 年度經股東會決議通過配發民國 103 年度員工紅利及董監事酬勞分別為現金紅利 10,882 仟元及 16,324 仟元。股東會決議配發之紅利數額與本公司民國 103 年度財務報表認列之員工分紅及董監事酬勞計 27,206 仟元並無差異。

本公司分別於民國 104 年 6 月 18 日及 103 年 6 月 18 日舉行股東常會，分別決議通過民國 103 及 102 年度盈餘分配案如下：

	盈餘分配案		每股股利(元)	
	103 年度	102 年度	103 年度	102 年度
法定盈餘公積	$58,793	$62,349	-	-
現金股利	401,901	361,097	$2.65	$2.5
股票股利	-	72,219	-	0.5

	103 年度		102 年度	
	現金紅利	股票紅利	現金紅利	股票紅利
員工紅利	$10,882	$-	$5,781	$-
董監事酬勞	16,324	-	17,344	-

前述有關盈餘分配情形可至公開資訊觀測站查詢董事會通過及股東會決議之員工紅利及董監事酬勞相關資訊。

自民國 102 年度起，本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」規定，於首次採用 IFRSs 時，應就帳列股東權益項下之未實現重估增值及累積換算調整數（利益），因選擇適用國際財務報導準則第 1 號豁免項目而轉入保留盈餘部分，分別提列相同數額之特別盈餘公積；但轉換日因首次採用 IFRSs 產生之保留盈餘增加數不足提列時，得僅就因轉換採用 IFRSs 產生之保留盈餘增加數予以提列。嗣後因使用、處分或重分類相關資產時，得就原提列特別盈餘公積之比例予以迴轉分派盈餘。首次採用 IFRSs 所應提列之特別盈餘公積得於以後年度用以彌補虧損；嗣後有盈餘年度且原提列特別盈餘公積之原因消除前，應就不足數額補足提列特別盈餘公積，始得分派盈餘。本公司無此情事。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。
分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

(4)其他權益項目

a.國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	104 年 1 月至 9 月	103 年 1 月至 9 月
期初餘額	$9,392	$(1,681)
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	9,221	4,243
與其他綜合損益組成部分相關之所得稅	(1,567)	(721)
期末餘額	$17,046	$1,841

國外營運機構淨資產自其功能性貨幣換算為合併公司表達貨幣(即新台幣)所產生之相關兌換差額，係直接認列為其他綜合損益項下之國外營運機構財務報表換算之兌換差額，於處分國外營運機構時，重分類至損益。

b.備供出售金融資產未實現損益

	104 年 1 月至 9 月	103 年 1 月至 9 月
期初餘額	$-	$(8,988)
備供出售金融資產未實現損益	-	(664)
期末餘額	$-	$(9,652)

備供出售金融資產未實現損益係備供出售金融資產按公允價值衡量所產生之累計利益及損失，其認列於其他綜合損益，並減除當該等資產處分或減損而重分類至損益之金額。

(5)非控制權益

	104 年 1 月至 9 月	103 年 1 月至 9 月
期初餘額	$-	$-
本期淨利	-	-
本期增加	-	15,523
期末餘額	$-	$15,523

21.收入

	104 年 7 月至 9 月	103 年 7 月至 9 月	104 年 1 月至 9 月	103 年 1 月至 9 月
租賃收入	$790	$981	$2,343	$2,247
營建工程收入	816,521	1,112,307	2,728,875	3,305,117
勞務收入	71	75	211	10,168
其他收入	2,267	-	24,610	137
合計	$819,649	$1,113,363	$2,756,039	$3,317,669

22. 成本

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
租賃成本	$234	$208	$892	$769
營建工程成本	755,026	979,385	2,391,824	2,850,182
勞務成本	-	81	-	304
合計	$755,260	$979,674	$2,392,716	$2,851,255

23. 繼續營業單位淨利

(1)其他收入

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
租金收入	$47	$48	$141	$141
股利收入	923	-	923	-
利息收入				
銀行存款	855	1,146	3,255	4,651
自有資金設算息	1,395	9,823	3,986	34,282
其他	114	385	765	1,286
其他	20,721	13,432	23,185	17,235
合計	$24,055	$24,834	$32,255	$57,595

(2)其他利益及損失

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
處分投資利益	$374	$-	$374	$-
透過損益按公允價值衡量之金融資產(損)益	(2,205)	(110)	(6,163)	617
處分不動產、廠房及設備(損)益	(17)	(4)	19	(155)
外幣兌換利益(損失)	5,011	1,021	2,476	(39)
什項支出	(1,185)	(501)	(4,641)	(3,362)
淨額	$1,978	$406	$(7,935)	$(2,939)

(3)財務成本

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
銀行借款利息	$416	$3	$469	$31

(4)折舊及攤銷

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
不動產、廠房及設備	$1,702	$1,697	$5,365	$4,999
投資性不動產	209	209	625	588
無形資產	423	871	2,028	2,601
合計	$2,334	$2,777	$8,018	$8,188

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
折舊費用依功能別彙總				
營業成本	$1,205	$1,393	$3,747	$4,007
營業費用	706	513	2,243	1,580
合計	$1,911	$1,906	$5,990	$5,587

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
攤銷費用依功能別彙總				
營業成本	$1	$4	$6	$13
營業費用	422	867	2,022	2,588
合計	$423	$871	$2,028	$2,601

(5)本期發生之員工福利功能別彙總

功能別 / 性質別	104年7月至9月			103年7月至9月		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合　計	屬於營業成本	屬於營業費用	合　計
薪資費用	$23,447	$15,760	$39,207	$22,893	$18,986	$41,879
其他短期福利	7,945	4,137	12,082	7,998	5,174	13,172
退職後福利	1,516	774	2,290	1,468	852	2,320
合計	$32,908	$20,671	$53,579	$32,359	$25,012	$57,371

功能別 / 性質別	104年1月至9月			103年1月至9月		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合　計	屬於營業成本	屬於營業費用	合　計
薪資費用	$74,082	$51,393	$125,475	$83,195	$55,375	$138,570
其他短期福利	23,349	13,441	36,790	24,675	13,899	38,574
退職後福利	4,349	2,372	6,721	4,556	2,431	6,987
合計	$101,780	$67,206	$168,986	$112,426	$71,705	$184,131

公司法於民國104年5月修正，規範公司應於章程訂明以當年度獲利狀況之定額或比例分派員工酬勞，惟本公司尚未配合上述法規修正員工酬勞分派政策。本公司估列員工紅利及董監事酬勞估列基礎係以民國104年1月至9月預計稅後淨利，考量法定盈餘公積等因素後，以章程所定之成數範圍內估計，並認列為民國104年1月至9月之營業成本或營業費用，惟若嗣後股東會決議實際配發金額與估列數有差異時，則列為次年度之損益。估列金額如下：

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
員工紅利	$913	$1,888	$3,926	$5,944
董監事酬勞	1,368	2,833	5,888	8,916

24. 繼續營業單位所得稅

(1)認列於損益之所得稅

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
當期所得稅				
當期產生者	$8,647	$20,813	$47,852	$71,957
未分配盈餘加徵	-	-	15,632	17,450
遞延所得稅				
當期產生者	587	558	(232)	(368)
認列於損益之所得稅費用	$9,234	$21,371	$63,252	$89,039

(2)認列於其他綜合損益之所得稅

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
遞延所得稅				
認列於其他綜合損益				
國外營運機構兌換差額	$2,560	$668	$1,567	$721
認列於其他綜合損益之所得稅	$2,560	$668	$1,567	$721

(3)兩稅合一相關資訊

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
未分配盈餘			
86年度以前	$63,613	$63,613	$63,613
87年度以後	1,068,953	1,300,894	1,035,674
	$1,132,566	$1,364,507	$1,099,287
股東可扣抵稅額帳戶餘額	$200,964	$220,289	$168,866

A. 民國103及102年度盈餘分配適用之稅額扣抵比率分別為23.56%及23.75%。

B. 依所得稅法規定，本公司分配屬於87年度(含)以後之盈餘時，本國股東可按股利分配日之稅額扣抵比率計算可獲配之股東可扣抵稅額，但依新修正之所得稅法第66條之6，屬中華民國境內居住之個人股東其可扣抵稅額比率予以減半，並自民國104年1月1日起分配盈餘時開始適用。由於實際分配予股東之可扣抵稅額，應以股利分配日之股東可扣抵稅額帳戶餘額為準，因此本公司預計民國103年度盈餘分配之稅額扣抵比率可能與將來實際分配予股東時所適用之稅額扣抵比率有所差異。

(4)本公司、德鎮盛工程、玉新開發及宇廣營造截至民國102年度之營利事業所得稅結算申報業經稅捐稽徵機關核定，其餘公司係依該國法令規定申報。

25. 每股盈餘

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
基本每股盈餘				
來自繼續營業單位	$0.34	$0.68	$1.44	$2.16
來自停業單位	-	-	-	-
基本每股盈餘合計	$0.34	$0.68	$1.44	$2.16

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
稀釋每股盈餘				
來自繼續營業單位	$0.34	$0.67	$1.44	$2.15
來自停業單位	-	-	-	-
稀釋每股盈餘合計	$0.34	$0.67	$1.44	$2.15

計算每股盈餘時，無償配股之影響業已追溯調整。

(1)本期淨利

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
用以計算基本每股盈餘之淨利	$50,685	$102,183	$218,084	$327,030
具稀釋作用潛在普通股之影響：				
無	-	-	-	-
用以計算稀釋每股盈餘之盈餘	$50,685	$102,183	$218,084	$327,030

(2)股數

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
用以計算基本每股盈餘之普通股加權平均股數	151,661	151,661	151,661	151,661
具稀釋作用潛在普通股之影響：				
員工分紅	45	98	157	227
用以計算稀釋每股盈餘之普通股加權平均股數	151,706	151,759	151,818	151,888

若本公司得選擇以股票或現金發放員工分紅，則計算稀釋每股盈餘時，假設員工分紅將採發放股票方式，並於該潛在普通股具有稀釋作用時計入加權平均流通在外股數，以計算稀釋每股盈餘。於次年度股東會決議員工分紅發放股數前計算稀釋每股盈餘時，亦繼續考量該等潛在普通股之稀釋作用。

26. 營業租賃協議

(1)本公司為承租人之已簽定不動產營業租賃合約於未來應支付租金總額彙總如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
1年內	$1,861	$1,459	$1,540
超過1年但不超過5年	-	2,055	2,261
	$1,861	$3,514	$3,801

(2)本公司為出租人之已簽定不動產營業租賃合約於未來應收取租金總額彙總如下：

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
1年內	$3,282	$3,934	$45
超過1年但不超過5年	7,186	3,886	-
超過5年	900	-	-
	$11,368	$7,820	$45

27. 資本管理

本公司處於快速成長階段,管理資本之目標係確保集團內各企業能夠於繼續經營與成長之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以提供股東足夠之報酬。

本公司之資本結構管理策略,係依據本公司所營事業的產業規模、產業未來之成長性與產品發展藍圖，以設定本公司適當之市場佔有率，並據以規劃所需之資本支出；再依產業特性，計算所需之營運資金與現金，以對本公司長期發展所需之各項資產規模，做出整體性的規劃;最後根據本公司產品競爭力推估可能之產品邊際貢獻、營業利益率與現金流量，並考量產業景氣循環波動、產品生命週期等風險因素，以決定本公司適當之資本結構。

本公司管理階層定期審核資本結構,並考量不同資本結構可能涉及之成本與風險。一般而言，本公司採用審慎之風險管理策略。

28. 金融工具

(1)金融工具之種類

金融資產	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
按攤銷後成本衡量			
現金及約當現金	$550,159	$897,212	$1,165,261
應收票據淨額	981	365	56
應收帳款淨額	1,296,344	1,188,964	786,030
應收帳款－關係人淨額	56	-	56
應收建造合約款	1,032,258	487,550	579,895
其他應收款	137,728	227,161	162,961
其他流動資產	27,682	37,810	44,698
其他金融資產－流動	1,988,178	2,301,289	1,866,467
存出保證金	19,707	18,667	19,028
長期應收票據及款項	180	420	420
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	41,863	40,822	301,056
備供出售金融資產－非流動	-	-	4,027
以成本衡量之金融資產－非流動	225,405	219,611	197,411

金融負債	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
按攤銷後成本衡量			
短期借款	$100,000	$48,120	$48,120
應付短期票券	149,936	-	-
應付票據	254,479	317,924	288,082
應付票據-關係人	-	56	-
應付帳款	1,086,092	1,183,598	863,124
應付建造合約款	546,197	355,996	860,508
其他應付款	76,471	140,883	73,867
一年或一營業週期內			
到期長期負債	10,287	2,408	2,349
代收款	949,356	652,426	622,212
長期借款	98,970	24,607	25,259
其他非流動負債	760	738	783

(2)財務風險管理目的與政策

合併公司主要金融工具包括權益投資、應收帳款、應付帳款及借款。
本公司之財務部門係為各業務單位提供服務，統籌協調國內金融市場之操作，藉由依照風險程度與廣度分析暴險之內部風險報告監督及管理與營運有關之財務風險。
該等風險包括市場風險（包括匯率風險及利率風險）、信用風險及流動性風險。
合併公司並未以投機目的而進行金融工具(包括衍生金融工具)之交易。
財務部門每季對本公司之董事會提出報告。

A.市場風險

a.匯率風險

(a)匯率風險之暴險

合併公司於資產負債表日若干非功能性貨幣(本公司及部分子公司之功能性貨幣為台幣、部分子公司之功能性貨幣為美元)，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產及負債資訊如下：

	104年9月30日			103年12月31日			103年9月30日		
(外幣：功能性外幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)
金融資產									
貨幣性項目									
美金：新台幣	$3,708	32.870	$121,866	$5,307	31.650	$167,979	$5,357	30.420	$162,947
歐元：新台幣	382	36.920	14,101	76	38.470	2,934	169	38.590	6,531
人民幣：新台幣	-	-	-	1,000	5.092	5,092	-	-	-
非貨幣性項目									
美金：新台幣	$6,522	32.870	$215,376	$4,750	31.650	$150,338	$4,215	30.420	$128,138
金融負債									
貨幣性項目									
美金：新台幣	$10	32.870	$318	$458	31.650	$14,493	$459	30.420	$13,950

(b)合併公司貨幣性項目因匯率波動具重大影響之未實現兌換損益說明如下：

	104 年 7 月至 9 月			103 年 7 月至 9 月		
	兌換損益			兌換損益		
	外幣（仟元）	匯率	帳面金額（新台幣）	外幣（仟元）	匯率	帳面金額（新台幣）
(外幣：功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$-	32.870	$5,105	$-	30.420	$(267)
歐元：新台幣	-	36.920	871	-	38.590	(495)
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$-	32.870	$(374)	$-	30.420	$23

	104 年 1 月至 9 月			103 年 1 月至 9 月		
	兌換損益			兌換損益		
	外幣（仟元）	匯率	帳面金額（新台幣）	外幣（仟元）	匯率	帳面金額（新台幣）
(外幣：功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$-	32.870	$3,094	$-	30.420	$711
歐元：新台幣	-	36.920	677	-	38.590	(495)
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$-	32.870	$(12)	$-	30.420	$(282)

	104 年 1 月至 9 月			103 年 1 月至 9 月		
	敏感度分析			敏感度分析		
	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
(外幣：功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	1%	$1,219	$-	1%	$1,629	$-
歐元：新台幣	1%	141	-	1%	65	-
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	1%	$3	$-	1%	$139	$-

b.利率風險

(a)合併公司分別以固定利率及浮動利率方式借入資金，以浮動利率借入之資金因而產生利率暴險。合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
具現金流量利率風險－金融負債	$100,000	$-	$48,120

(b)敏感度分析

下列敏感度分析係依非衍生性工具於資產負債表日之利率暴險而決定。對於浮動利率負債，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於報導期間皆流通在外。合併公司內部向主要管理階層報告利率時所使用之變動率為利率增加 1%，此亦代表管理階層對利率之合理可能變動範圍之評估。

若利率增加 1%，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司民國 104 及 103 年 1 月至 9 月之淨利將分別減少 375 仟元及 507 仟元。

B.信用風險

合併公司主要潛在信用風險係源自於現金及應收帳款之金融商品。合併公司現金存放於不同之金融機構，控制暴露於每一金融機構之信用風險，而且認為合併公司之現金不會有重大信用風險顯著集中之虞。合併公司主要承攬政府之公共工程，其應收款項之信用風險低。

C.流動性風險

合併公司係透過管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應集團營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至民國 104 年 9 月 30 日、103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司未動用之銀行融資額度分別為 2,894,000 仟元、3,262,000 仟元及 1,823,000 仟元。

流動性及利率風險表

下表詳細說明本公司已約定還款期間之非衍生性金融負債剩餘合約到期分析，其係依據本公司最早可能被要求還款之日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

合併公司可被要求立即還款之銀行借款，係列於下表中最早之期間內，不考慮銀行立即執行該權利之機率；其他非衍生性金融負債到期分析依照約定之還款日編製。

104 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 個月	1 至 3 個月	3 個月至 1 年	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債					
無付息負債	$-	$-	$2,366,398	$546,957	$-
固定利率工具	-	149,936	-	-	109,257
浮動利率工具	-	-	100,000	-	-
	$-	$149,936	$2,466,398	$546,957	$109,257

103 年 12 月 31 日

	要求即付或短於 1 個月	1 至 3 個月	3 個月至 1 年	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債					
無付息負債	$-	$-	$2,294,887	$356,734	$-
固定利率工具	-	-	48,120	-	27,015
	$-	$-	$2,343,007	$356,734	$27,015

103 年 9 月 30 日

	要求即付或短於 1 個月	1 至 3 個月	3 個月至 1 年	1 至 5 年	5 年以上
非衍生金融負債					
無付息負債	$-	$-	$1,847,285	$861,291	$-
固定利率工具	-	-	-	-	27,608
浮動利率工具	-	-	48,120	-	-
	$-	$-	$1,895,405	$861,291	$27,608

上述非衍生性金融資產及負債之浮動利率工具金額，將因浮動利率與資產負債表日所估計之利率不同而改變。

(3)公允價值之資訊

a. 非按公允價值衡量金融工具之公允價值

合併公司管理階層認為按攤銷後成本衡量之金融資產及金融負債之帳面金額趨近其公允價值。

b. 按公允價值衡量之金融工具

金融資產	104 年 9 月 30 日		103 年 12 月 31 日		103 年 9 月 30 日	
	帳面價值	公允價值	帳面價值	公允價值	帳面價值	公允價值
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	$41,863	$41,863	$40,822	$40,822	$301,056	$301,056
備供出售金融資產－非流動	-	-	-	-	4,027	4,027

金融資產之公允價值係依下列方式決定：

(a)具標準條款與條件並於活絡市場交易之金融資產，其公允價值係分別參照市場報價決定。若無市場價格可供參考時，則採用評價方法估計。合併公司採用評價方法所使用之估計及假設，與市場參與者於金融商品訂價時用以作為估計及假設之資訊一致。

(b)無公開報價之股票係依照淨值法決定公允價值。

c. 認列於合併資產負債表之公允價值衡量

下表提供了金融工具於原始認列後以公允價值衡量方式之分析，衡量方式係基於公允價值可觀察之程度分為第一至三級：

(a)第一級公允價值衡量係指以來自活絡市場相同資產或負債之公開報價(未經調整)。

(b)第二級公允價值衡量係指除第一級之公開報價外，以屬於該資產或負債直接(亦即價格)或間接(亦即由價格推導而得)可觀察之輸入值推導公允價值。

(c)第三級公允價值衡量係指評價技術係非以可觀察市場資料為基礎之資產或負債之輸入值(不可觀察之輸入值)推導公允價值。

104 年 9 月 30 日

項　　目	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動				
國內上市櫃股票	$11,377	$-	$-	$11,377
基金	30,486	-	-	30,486
	$41,863	$-	$-	$41,863

103 年 12 月 31 日

項　　目	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動				
國內上市櫃股票	$10,466	$-	$-	$10,466
基金	30,356	-	-	30,356
	$40,822	$-	$-	$40,822

103 年 9 月 30 日

項　　目	第一級	第二級	第三級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動				
基金	$301,056	$-	$-	$301,056
備供出售金融資產－非流動				
國內上市櫃股票	$4,027	$-	$-	$4,027

七、關係人交易事項

合併公司與關係人間之重大交易事項

(一)營業交易

	銷貨			
	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
其他關係人	$56	$61	$168	$168

(二)應收付款項

1.應收帳款-關係人

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
其他關係人	$56	$-	$56

2.應付票據-關係人

	104 年 9 月 30 日	103 年 12 月 31 日	103 年 9 月 30 日
其他關係人	$-	$56	$-

(三)其他交易

1.其他應收款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
其他關係人	$-	$9	$-

2.其他應付款

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
其他關係人	$10	$10	$10

3.預付費用

	104年9月30日	103年12月31日	103年9月30日
其他關係人	$190	$60	$190

4.營業費用

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
其他關係人	$220	$229	$660	$669

5.營業外-其他收入

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
其他關係人	$11	$4	$11	$4

6.對主要管理階層之獎酬

	104年7月至9月	103年7月至9月	104年1月至9月	103年1月至9月
短期員工福利	$3,236	$4,467	$11,615	$13,730
其他長期員工福利	-	-	-	-
離職福利	-	-	-	-
退職後福利	-	-	-	-
合計	$3,236	$4,467	$11,615	$13,730

八、質抵押之資產

合併公司提供下列資產作為向銀行借款、發行商業本票額度、融資額度、工程保固款、履約保證金之擔保品或用途受有限制：

	104年9月30日	103年12月31	103年9月30日
存貨-待售房地	$209,943	$98,875	$98,875
其他金融資產-流動(受限制銀行存款)	1,988,178	2,301,289	1,866,467
其他流動資產(工程存出保證金)	10,065	12,968	28,543
不動產、廠房及設備	36,169	36,583	36,721
投資性不動產	7,310	7,382	7,406
合計	$2,251,665	$2,457,097	$2,038,012

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

1.截至民國104年9月30日、103年12月31日及9月30日止，合併公司為承包工程、發行商業本票及銀行融資而開立之存出保證票據分別為12,396,363仟元、10,909,792仟元及10,559,120仟元。

2. 截至民國 104 年 9 月 30 日、103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司已收取發包廠商所開立之存入保證票據分別為 788,043 仟元、801,083 仟元及 835,689 仟元。

3. 截至民國 104 年 9 月 30 日、103 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司由銀行開立之連帶保證書金額分別為 2,558,897 仟元、1,943,891 仟元及 1,952,782 仟元，由臺灣產物保險(股)公司開立之連帶保證書金額分別為 3,532 仟元、10,857 仟元及 10,857 仟元。

4. 截至民國 104 年 9 月 30 日止，合併公司承攬工程(未完工程)合約總價約為 27,402,486 仟元(未含稅)，已依約收取之價款約為 14,602,824 仟元(未含稅)。

5. 本公司遭台北市市場處以未依約履行義務為由，向本公司提出民事訴訟，請求損害賠償。本案於民國 100 年 8 月 31 日經台北地方法院判決本公司應給付台北市市場處新台幣 14,192 仟元，及自民國 100 年 4 月 22 日起至清償日止，按年息 5%計算之利息。經本公司向臺灣高等法院提起上訴，於民國 102 年 4 月 18 日經二審宣判廢棄原裁判，台北市市場處已於民國 102 年 5 月 27 日上訴至最高法院，最高法院於民國 103 年 3 月 3 日發回台灣高等法院更一審，民國 104 年 4 月 1 日更一審宣判，我方全部勝訴，台北市市場處於民國 104 年 5 月 11 日上訴最高法院，目前由最高法院審理中。惟依保守穩健原則，本公司業於民國 100 年度認列該損失，帳列其他應付款項項下。另於民國 101 年 3 月 31 日依台北地方法院 100 年建字第 100 號民事判決提存 14,192 仟元預供擔保免為假執行，帳列存出保證金項下。

十、重大之災害損失：無。

十一、重大之期後事項：無。

十二、其他：無。

十三、附註揭露事項

1. 重大交易事項相關資訊

(1)資金貸與他人：

編號	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高金額	期末餘額	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因
1	德昌營造股份有限公司	玉新開發建設股份有限公司	其他應收關係人款項	是	$30,000	$30,000	$15,000	臺灣銀行基準利率+1%	短期融通資金之必要	-	營業週轉

編號	提列備抵呆帳金額	擔保品		對個別對象資金貸與限額(註一)	資金貸與總限額(註一)
		名稱	價值		
1	$-	無	$-	$644,130	$644,130

註一：有短期融通資金之必要者，個別貸與金額以不超過本公司淨值之百分之二十為限，總貸與金額以不超過本公司淨值之百分之二十為限。

(2)為他人背書保證：

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率	背書保證最高限額
		公司名稱	關係							
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	子公司	$15,166,076 (註1)	$1,559	$1,559	$1,559	$-	0.05%	$30,332,152 (註1)
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	子公司	3,157,464 (註2)	2,622,339	2,622,339	156,401	86,000	81.42%	3,157,464 (註2)
1	德鎮盛工程(股)公司	德昌營造(股)公司	母公司	5,000,000 (註1)	896,714	896,714	896,714	-	571.04%	5,000,000 (註1)
2	宇廣營造(股)公司	德昌營造(股)公司	間接投資之母公司	3,500,000 (註1)	62,500	3,251	3,251	-	5.92%	3,500,000 (註1)

編號	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
0	是	否	否
1	否	是	否
2	否	是	否

註1：本公司及子公司對單一企業保證額度以不超過本公司及子公司實收資本額之10倍及50倍，其總額不超過本公司及子公司實收資本額之20倍及50倍為限。

註2：本公司對單一企業保證額度以不超過本公司淨值之20%為限，其總額不超過本公司淨值之100%為限。經董事會同意本公司對直接或間接持有表決權股份百分之百之子公司，保證額度不受單一企業額度限制，但以不超過本公司淨值之100%為限。

(3)期末持有有價證券情形(不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部份)：

持有之公司	有價證券種類及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末				備註
				股數/單位數	帳面金額	持股比率	公允價值	
德昌營造(股)公司	野美國際開發(股)公司股票	無	以成本衡量之金融資產-非流動	9,937,600	$69,273	6.82%	$-	-
TE CHANG CONSTRUCTION PTE.	江西日榮實業有限公司	無	以成本衡量之金融資產-非流動	-	156,132	19.00%	-	-
德昌營造(股)公司	華豐橡膠工業(股)公司股票	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	784,000	9,643	0.24%	9,643	-
德鎮盛工程(股)公司	元大寶來萬泰貨幣市場基金	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	679,532.50	10,159	-	10,159	-
德鎮盛工程(股)公司	第一金台灣貨幣市場基金	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	673,600.30	10,157	-	10,157	-
德鎮盛工程(股)公司	富蘭克林華美貨幣市場基金	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	998,591.99	10,170	-	10,170	-
宇廣營造(股)公司	華豐橡膠工業(股)公司股票	無	透過損益按公允價值衡量之金融資產-流動	141,000	1,734	0.04%	1,734	-

(4)累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額20%以上者：無。

(5)取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額20%以上者：無。

(6)處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額20%以上者：無。

(7)與關係人進銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額20%以上者：無。
(8)應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額20%以上者：無。
(9)從事衍生性商品交易：無。

2. 轉投資事業相關資訊

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊(不包含大陸被投資公司)：

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期(損)益	母公司認列之投資(損)益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
本公司	德鎮盛工程(股)公司	台中市五權路401-1號6樓	廢(污)水處理業、廢棄物處理業、水處理工程業。	$72,265	$72,265	10,000,000	100%	$156,942	$1,428	$1,428 (註1)	本公司之子公司
本公司	玉新開發建設(股)公司	台中市五權路401-1號6樓	住宅及大樓開發租售業。	300,000	300,000	30,000,000	100%	376,269	20,304	20,304 (註1)	本公司之子公司
本公司	TE CHANG CONSTRUCTION PTE. LTD.	新加坡	投資控股	238,670	222,442	10,470,000	100%	259,293	(229)	(229) (註1)	本公司之子公司
本公司	老楊食品(股)公司	嘉義縣民雄鄉大崎村十四甲16之4號	其他烘焙炊蒸食品製造、其他糖果製造	49,468	-	2,105,000	25.01%	50,754	19,595	1,286	關聯企業
玉新開發建設(股)公司	宇廣營造(股)公司	台中市五權路401-1號7樓	綜合營造業、建材批發業、建材零售業、不動產買賣業。	54,050	54,050	7,000,000	100%	58,817	2,307	2,307 (註1)	本公司之孫公司

註1：編製合併財務報告時業已全數沖銷

3. 大陸投資資訊

(1)轉投資大陸地區之事業相關資訊

單位：新台幣仟元/美金仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式(註1)	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資持股比例	本期認列投資損益(註2)	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益
					匯出	收回						
江西日榮實業有限公司	濾水器、逆滲透濾水器、加壓馬達銷售及生產、進出口代理、茶製品等	$771,500 (USD25,000)	c	$156,132 (USD4,750)	-	-	$156,132 (USD4,750)	-	19%	- (註5)	$156,132	-

(2)轉投資大陸地區限額

單位：新台幣仟元/美金仟元

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額(註4)
$156,132 (USD4,750)	$156,132 (USD4,750)	$1,932,391

註1：投資方式區分為下列五種，標示種類別即可：
a.經由第三地區匯款投資大陸公司。

b.透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司。
c.透過轉投資第三地區現有公司再投資大陸公司。
d.直接投資大陸公司。
e.其他方式。

註 2：本期認列投資損益欄中：
a.若屬籌備中，尚無投資損益者，應予註明。
b.投資損益認列基礎分為下列三種，應予註明。
(a)經與中華民國會計師事務所有合作關係之國際性會計師事務所查核簽證之財務報表。
(b)經台灣母公司簽證會計師查核簽證之財務報表。
(c)其他。

註 3：本表數字應以新台幣列示。

註 4：限額係依淨值之百分之六十。

註 5：本公司對 TE CHANG CONSTRUCTION PTE. LTD.之投資公司江西日榮實業有限公司無重大影響力

(3)與大陸被投資公司直接或間接經由第三地區所發生之重大交易事項：無。

4.母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

(1)104 年 1 月至 9 月

編號(註 1)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註 2)	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率(註 3)
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	營建工程成本	4,920	(註 4)	0.18%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	應付帳款	1,614	(註 4)	0.02%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	應付票據	715	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	租金支出	429	(註 4)	0.02%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	什項收入	257	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	其他應收款	90	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	預付費用	143	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	預收款	86	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	工程成本	10,970	(註 4)	0.40%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	勞務費支出	780	(註 4)	0.03%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	營業費用	11	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	什項收入	171	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	其他應收款	15,098	(註 4)	0.23%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	應付費用	256	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	預付費用	12	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	預收款	57	(註 4)	_
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	租金收入	343	(註 4)	0.01%
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	其他應收款	120	(註 4)	_
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	預收款	114	(註 4)	_

(2)103 年 1 月至 9 月

編號(註 1)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註 2)	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率(註 3)
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	營建工程成本	4,842	(註 4)	0.15%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	應付帳款	2,163	(註 4)	0.04%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	應付票據	150	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	租金支出	429	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	什項收入	257	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	其他應收款	90	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	預付費用	143	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	預收款	86	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	德鎮盛工程(股)公司	1	處分固定資產利益	152	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	TE CHANG CONSTRUCTION PTE. LTD.	1	其他應收款	20	(註 4)	-
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	營業費用	768	(註 4)	0.02%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	營業費用	4	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	應付費用	256	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	什項收入	171	(註 4)	0.01%
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	其他應收款	60	(註 4)	_
0	德昌營造(股)公司	玉新開發建設(股)公司	1	預收款	57	(註 4)	_
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	租金收入	343	(註 4)	0.01%
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	其他應收款	120	(註 4)	_
1	德鎮盛工程(股)公司	玉新開發建設(股)公司	3	預收款	114	(註 4)	_

註1：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

1.母公司填0。

2.子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註2：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可：

1.母公司對子公司。

2.子公司對母公司。

3.子公司對子公司。

註3：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。

註4：銷售價格及付款條件與一般交易相同。

十四、營運部門資訊

1. 合併公司係依據管理當局用以制定決策、評估績效及分配資源之管理報告釐定營業部門。合併公司主要從事營造、不動產租賃等業務，為單一應報導部門。

2. 部門損益、資產與負債之資訊

104 年 1 月至 9 月

	單一部門	調整及沖銷	合計
收入：			
來自外部客戶收入	$2,756,039	$-	$2,756,039
部門間收入	16,669	(16,669)	-
收入合計	$2,772,708	$(16,669)	$2,756,039
部門損益	$241,865	$(23,781)	$218,084

	單一部門	調整及沖銷	合計
資產：			
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	$41,863	$-	$41,863
以成本衡量之金融資產-非流動	225,405	-	225,405
部門資產	$7,506,341	$(867,556)	$6,638,785
部門負債	$3,438,181	$(20,048)	$3,418,133

103 年 1 月至 9 月

	單一部門	調整及沖銷	合計
收入：			
來自外部客戶收入	$3,317,669	$-	$3,317,669
部門間收入	5,610	(5,610)	-
收入合計	$3,323,279	$(5,610)	$3,317,669
部門損益	$329,122	$(2,092)	$327,030

	單一部門	調整及沖銷	合計
資產：			
透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	$301,056	$-	$301,056
備供出售金融資產-非流動	4,027	-	4,027
以成本衡量之金融資產-非流動	197,411	-	197,411
部門資產	$6,854,682	$(788,888)	$6,065,794
部門負債	$2,939,136	$(3,257)	$2,935,879

(1)部門間之收入係於合併時銷除。
(2)單一營運部門之損益已包含財務收益或成本。

3.重要客戶資訊

合併公司民國104及103年1月至9月對主要客戶之銷貨金額佔銷貨收入淨額10%以上之客戶明細揭露如下：

	104年1月至9月		103年1月至9月	
客戶名稱	金　　額	佔銷貨淨額%	金　　額	佔銷貨淨額%
A客戶	$644,512	23.39%	$371,314	11.19%
B客戶	438,609	15.91%	281,770	8.49%
C客戶	206,402	7.49%	573,693	17.29%
D客戶	182,746	6.63%	567,660	17.11%
合計	$1,472,269	53.42%	$1,794,437	54.08%

4.地區別資訊

(1)來自外部客戶收入

	104年1月至9月		103年1月至9月	
	金　　額	佔銷貨淨額%	金　　額	佔銷貨淨額%
台灣	$2,743,652	99.55%	$3,224,259	97.18%
非洲	12,387	0.45%	93,410	2.82%
合計	$2,756,039	100.00%	$3,317,669	100.00%

(2)非流動資產

	104年9月30日		103年9月30日	
	金　　額	佔總資產%	金　　額	佔總資產%
台灣	$187,311	2.82%	$169,567	2.80%